

青少年育成

茂原市民会議だより

第三十回茂原市少年の主張大会を開催しました!!



茂原市少年の主張大会

主催 青少年育成茂原市民会議



▲早野中学校音楽部の演奏

令和元年十月二十日(日)、東部台文会館にて、少年の主張大会を開催しました。今回は市内の中学校から十三名の生徒が参加し、百九十九名の聴衆の前で堂々と発表を行いました。中学生が日頃の生活の中で考えていることや心の叫び・社会への提言など率直な言葉で語りかけ、大きな感動を与えてくれました。この経験を活かしてそれぞれの道を歩んでいくことを応援しています。

- また、審査の待ち時間を用いて早野中学校音楽部のすばらしい演奏を披露していただき、参加した生徒も観客の皆さんも大変有意義な一日でした。
- 最優秀賞 早野中学校 三年 須藤 ロゼさん
 - 優秀賞(発表順) 『私の考える未来の英語』
 - 富士見中学校 三年 御園生 奈々さん
 - 『光り輝く自分を見つけて』
 - 茂原中学校 三年 渡邊 春樺さん
 - 『おぼあちゃん』
 - 奨励賞(発表順)
 - 南中学校 三年 常任 凜香さん
 - 『「免許返納」という決断』
 - 本納中学校 三年 石渡 花菜さん
 - 『高齢社会』
 - 富士見中学校 三年 永島 凜香さん
 - 『母の愛』
 - 東中学校 三年 石田 真央さん
 - 『明るい未来のために』
 - 茂原中学校 三年 芹川 優里さん
 - 『私と友達』
 - 西陵中学校 三年 黒沢 玲衣亜さん
 - 『ありがとう、西陵中学校』
 - 南中学校 三年 星野 愛心さん
 - 『ほんの少しの勇氣』
 - 早野中学校 三年 高橋 由衣さん
 - 『感謝の気持ちを伝えること』
 - 本納中学校 三年 渡辺 由衣さん
 - 『LGBTという個性』
 - 東中学校 三年 深澤 美央さん
 - 『幸せの条件』

佐藤審査員長を含め八名の審査員による厳正な審査の結果は次のとおりです。ご来場の皆さんのご理解とご協力、温かい応援のおかげで無事に大会を終えることが出来ました。有難うございました。

家庭部会長 齋藤 博

各小学校区青少年育成茂原市民会議の活動

中の島小学校区青少年育成茂原市民会議

中の島小学校区では、主に4つの活動をしています。

まず、夏に行う学校の美化作業です。子ども達が安心して学校生活を送れるよう、草刈りや剪定作業をしています。また、美化活動の後に、学区内の通学路のパトロールを行い、危険箇所を写真に撮り、注意を呼びかけています。

2つ目は11月に行われる「僕と私のジャンピング大会」へのサポートです。本年度は大雨で中止となりましたが、例年、大会運営や、参加者への参加賞の配付を行っています。

3つ目は市民会議主催の標語コンクールです。各学年の優秀作品には賞を贈り、また、標語を学校内へ掲示して児童の健全育成を図っています。

4つ目は学校と共催のミニ集会です。学校、地域、保護者の意見交換を行い、連携を図っています。その他、随時学校の教育活動、学校行事への協力、学校施設の整備や美化活動を行っています。

中の島小学校区青少年育成茂原市民会議会長 道脇 美彦



▲2学年の苗植え指導

本納小学校区青少年育成茂原市民会議

昨今の青少年を取り巻く環境は、自分達の時代とは明らかに違い、いわゆる非行（暴力・破壊）行動は影を潜め、SNS等によるいじめ問題や虐待等の一見わかりづらい問題が増加しているように感じられます。

被害を受ける子ども達を出さないことは大事ではありますが、加害者となる子ども達を出さないことが最も重要だと常に考えて活動に活かしています。

本納小学校区の代表的な事業としては、本小チャレンジ（写真）があります。年に数回本納小学校のご協力をいただき、その都度違った課題を決めて競います。学年に関係なく、ときには下級生が1等賞を取るときもあります。多くの子ども達がこの本小チャレンジを通じて、頑張ればできるという自分だけの成功体験を積み重ね、自分にもっと自信を持ってもらえればと考えています。

この他にも『地域の子ども達は地域の大人が育てる』をスローガンに掲げ、青少年育成茂原市民会議の事業を中心に、地域の様々な団体のご協力を得ながら活動を行っております。

今後も、子ども達の笑顔を励みに皆様のご協力を賜りながら活動して行きます。

本納小学校区青少年育成茂原市民会議会長 関 一仁



新治小学校区青少年育成茂原市民会議

令和元年を迎え、小規模校という実態は変わりませんが、本年度も引き続き、学校・家庭・地域が連携し、子ども達の安心安全・健全育成のための継続した取り組みを行っております。

本年度は台風等の影響により「僕と私のジャンピング大会」など、実施できなかった行事もございましたが、12月7日に恒例行事の「もちつき集会」（写真）及びミニ集会を雨の中ですが、体育館にて行いました。

ミニ集会では、前年同様、標語コンクールの表彰式を行いました。標語では、「あいさつ運動」と新治小学校区独自の取り組みである「ツバメ調査」についての2つをテーマとしました。

また、今年度は「読書活動の促進」として“読みかけの本を入れて机の脇に下げられるバッグ”を「防災に対する備え」として“災害等非常時に使用できるレスキュー簡易寝袋”を市民会議から全児童に配布いたしました。来年度も子ども達にとって良い体験や思い出となるような取り組みを、地道ながら行ってまいります。

新治小学校区青少年育成茂原市民会議会長 山本 茂樹



青少年健全育成標語コンクール（環境部会）

第8回青少年健全育成標語コンクールでは、小中学生を対象に「私とスポーツ」をテーマとして募集したところ、1,579点にのぼる応募をいただきました。

審査結果は次のとおりです。（敬称略）



【小学生の部】

・最優秀賞

「ひたむきな 努力の先に 勝利あり」 東郷小学校 5年 大木 聖翔さん

・優秀賞

「スポーツで 心と心が 手をつなぐ」 茂原小学校 4年 高橋 悠那さん

「スポーツで 体力つくって 健康貯金」 本納小学校 5年 齊藤 紡さん

・入選

「ころんでも なかまのこえが せなかおす」 豊田小学校 2年 目時 朋弥さん

「がんばれの 声が聞こえる 力わく」 二宮小学校 4年 蕨 紗来さん

「気持ち一つ バトンをつなげ 勝利の道」 西小学校 5年 高山 悠生さん

「最高の 仲間がいるから がんばれる」 五郷小学校 5年 久我 柚璃さん

「スポーツで つながる広がる 友だちの輪」 鶴枝小学校 1年 大塚 愛子さん

「そのあせは 君のがんばり 語ってる」 萩原小学校 6年 坂内 煌基さん

「ともだちと ながしたあせは たからもの」 中の島小学校 1年 石井 百々華さん

「夏空に ボール追いかけて 光る汗」 新治小学校 1年 金坂 綸さん

「おはようで えがおになれる じぶんがいる」 豊岡小学校 2年 澤田 龍一さん

「いつの日か きみのがんばり 花ひらく」 東部小学校 3年 岩下 真穂さん

「勝ち負けが すべてじゃないよ スポーツは」 緑ヶ丘小学校 5年 丸 もあ那さん

【中学生の部】

・最優秀賞

「ムダはない 努力は常に 君のもの」 富士見中学校 1年 石野 舞天さん

・優秀賞

「スポーツは 世界をつなぐ パスポート」 茂原中学校 1年 高山 千佳さん

「スポーツで 未来に一步 ふみ出そう」 早野中学校 1年 森 花音さん

・入選

「競争も 気づけばそこに 心の輪」 東中学校 3年 御須 航太さん

「仲間との 絆をみせろ チームプレー」 南中学校 1年 白吉 結さん

「練習し 積んだ努力 裏切らない」 本納中学校 1年 細野 咲さん

「走りだす 仲間の応援 追い風に」 西陵中学校 3年 黒沢 玲衣亜さん

※ 優秀賞・入選は学校順に掲載しております。



青少年育成地区啓発推進事業（環境部会）

『障がい者の方たちとスポーツを！！～パラスポーツ茂原の活動について～』をテーマに10月6日（日）茂原市役所市民室において講演会を開催しました。パラスポーツ茂原の活動紹介と活動を通して感じたパラスポーツの大切さについてお話しいただきました。

パラスポーツ茂原は、2017年3月に設立され、『月曜日はパラスポーツ』を合言葉に、基本第2、第4月曜、市民体育館にて卓球やボッチャ、シッティングバレーなどの体験教室を行っており、スポーツを通して障がいのある方が心身の健康維持や健康促進を図れるよう積極的な活動を行っています。



▲ボッチャ体験教室の様子

講演では、パラスポーツ茂原の井上さんと、日頃、教室に参加している障がい者団体及び障がい者事業所の代表者による3名の座談会コーナーがあり、生の声が聞いて大変参考になりました。

講演後には、脳性麻痺など重度の障がい者のために欧州で考案され、東京パラリンピック種目でもある“ボッチャ”というスポーツの体験会がありました。誰でも簡単に楽しめそうですが、カーリングに似て頭脳も必要とされ奥が深く、白熱した体験会になりました。

なお、講演に先立ち、第8回青少年健全育成標語コンクールの表彰式が行われました。受賞者の皆さん、おめでとう！

環境部会長 小倉 稔

～特集～

第30回茂原市少年の主張大会最優秀賞者 須藤ロゼさんにインタビュー！！

「観客の皆さんが一生懸命聴いてくれて、嬉しかったです！」そう語るの、第30回茂原市少年の主張大会で最優秀賞を受賞した早野中学校3年生の須藤ロゼさん。

夏休みにアメリカで開催された世界スカウトジャンボリーに参加された須藤さんは、様々な国の方と交流する中で、日本の子どもは他国の子どもと比較して英語でのコミュニケーションを苦手としていることが多いことに疑問を抱いたそうです。

「なぜ、日本の子ども達は英語を話すことが苦手なのだろうか。」そう思った須藤さんは、日本と他国の違いをインターネットや実際に海外の友達に聞いて調査していく中で、他国の英語教育はコミュニケーションに重点を置いていること、日本では読み書きに重点を置いていることに気付きます。その理由は、大学・高校の受験に対応するためではないかと思ひ、日本の受験制度を変えてはどうかと主張しました。

少年の主張大会への参加を薦めた、クラス担任である山田先生は「物事をよく考えていて、作文や絵画など表現することは上手です。自分の考えを大勢の前で発表するという経験が、今後の生活で必ず役に立つと思ひ声をかけました。」と語ります。

実際の発表では、抑揚をつけたり大きな声で話したりなど、作文では表現できない部分も重要です。須藤さんは、休み時間や放課後など空いている時間は山田先生の指導を受け、また、自宅に帰ってからは個人練習に打ち込みました。練習を重ねる内に原稿は全て覚えたそうで、原稿を見ず前を向いて堂々と発表する姿は、聴衆を惹きつけていました。

作文を書くきっかけとなったボーイスカウトには、祖父の紹介で小学校4年生から入団し、ハイキングなどのアウトドア活動やゴミゼロ運動などのボランティア活動をしてきました。また、中学校では文化部の部長を務め、七夕飾り制作などのボランティア活動をしているといます。

これから更に英語を勉強したいと話す須藤さんは、日本と海外をつなげるコーディネーターなどに憧れているそうです。この主張大会の経験が少しでも役に立つことを願っています。

最後に、「主張を聴きに来てくださってありがとうございました。来年発表する方は恥ずかしがらず、自分の想いを発表してほしいです。」と語ってくれました。



▲インタビューに答える須藤ロゼさん

（あとがき）

令和元年度は、台風や大雨により、市内に甚大な被害が発生したため、市民会議の主催事業である「第二十五回僕と私のジャンピング大会」は中止とさせていただきます。被災された方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

令和二年度も、より一層、青少年育成活動を推進して参りますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

発行日

令和二年三月十九日

編集・発行

青少年育成茂原市民会議

発行責任者

中山 清志

事務局

茂原市道表一番地

茂原市教育委員会

生涯学習課内

TEL 〇四七五（二〇）一五五九